

■■■ 元気なうちに整える ■■■

ゆるい しゅうかつしんぶん 終活新聞

2022年(令和4年)4月

第29号

終活は人生を終わることへの準備だけではなく、人生をよりよく生きること。生活の中で知っておくとお得な情報をわかりやすくお届けします！

50歳で年金受取額の確認を！～現役40・50代こそライフプランを確認しよう～

今春から年金が下がり、昨年度より0.4%の減額です。国民年金(老齢基礎年金)満額は、年780,900円から777,800円(月65,075円)になります。(サラリーマンなど第2号被保険者は2階部分となる厚生年金が上乘)また、年金手帳が廃止され、代わりに「基礎年金番号通知書」が交付されるようになります。

年金は、65歳から必ず受け取らなければならない、というわけではありません。60歳から75歳の間の希望する時期に受け取りをスタートできます。64歳までに受け取ることを「繰上げ受給」、66歳以降に受け取ることを「繰下げ受給」と言い、受け取る年金の額が変わります。2022年4月以降、繰上げ受給をすると、65歳から受け取る年金額より1か月受給を早めるごとに、0.4%ずつ減っていきます。(3月までは1か月0.5%減額でした)60歳まで年金の開始を早めると最大で $0.4\% \times 60ヶ月 = 24\%$ 減額となります。例えば、65歳から月6万円年金が受け取れる人の場合、60歳繰上げ受給にすると月4万5600円になり、この年金支給額は一生は減額されたままということになります。

繰下げ受給は、65歳から受け取る年金額より1か月受給を遅くすると0.7%ずつ増えていきます。70歳まで繰下げると42%。75歳まで繰下げると84%増額されます。「損益分岐点」は11～12年と言われており、65歳から年金を受給した場合と75歳から年金繰下げ受給した場合を比べると、75歳まで繰り下げた人の年金の受給総額が65歳を上回るのは「86歳」のときとなります。日本人の平均寿命は男81.64歳、女87.74歳(厚生労働省「令和2年簡易生命表の概況」より)。自分の寿命がわからないので何とも言えませんし、もらえるものはすぐもらいたい！という価値観もありますので個人の自由になりますが、年金繰上げ繰下げの知識、メリットデメリットを知っておくことは大事です。まだ先と思っている現役世代にとっても、年金は将来の生活設計には欠かせないものです。50歳頃を機に年金の見込み額を確認しておきましょう。

日本年金機構「ねんきんネット」

Japan Pension Service



これまでの年金記録や、将来受け取る年金の見込額などご自身の年金に関する情報をパソコンやスマートフォンから、いつでもどこでも確認できるサービスです！



老後に突入してから
収入を増やすことは厳しいです！

老後のお金のこと・・・
40、50代で意識しておくことで、対策や改善する点が見えてきます！行動できます！！

自分は将来何をやってみたいか？
どのように暮らしてみたいか？
そのためにお金はどのくらい必要か？

ライフプランを考えてみましょう。

□ 年金受給後にどういう暮らしをしたいか書き出してみましょう

年金は人それぞれ働き方によって違ってきます。まずは、自分の現状を把握することが大事です。毎年誕生日頃になると、日本年金機構から「ねんきん定期便」が郵送で届きます。50歳以上の場合は老齢年金の見込額が記載されます。「ねんきんネット」で将来受け取る年金見込み額を確認することもできますし、年金事務所へ相談も可能です。老前、年金を知ることは、将来の生活設計をする上で欠かせないですし、元気なうちに老後資金を増やす行動ができます。iDeCoや付加年金、投資…対策をとることができます。わたしは、できるだけ長く働ける環境づくり、預貯金や資産運用をして、年金受取りを遅らせたいかな…？自分の思い描く老後を送れますように♪



「終活ノオト」
公式LINE